

群馬県の養豚場で豚熱が続発！（国内81例目）

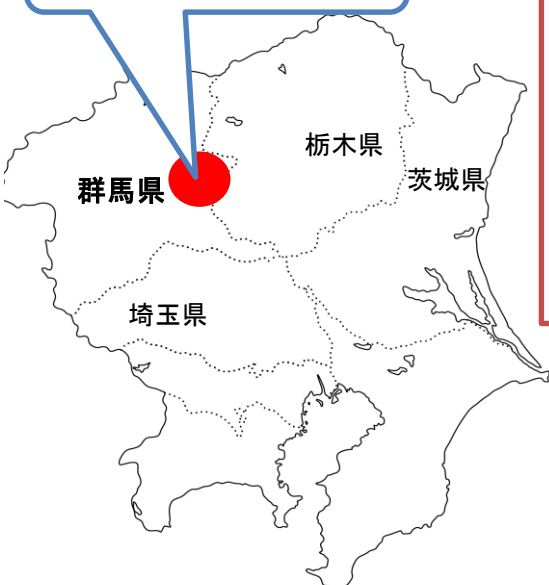
5月10日、群馬県桐生市の養豚場において豚熱の患畜が確認されました。群馬県での発生は7例目となります。

ワクチン接種県での豚熱発生が続いています。繰り返しお伝えしているとおり、ワクチンで豚熱を完全に防げるわけではありません。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策をしっかりと実施してください。

豚やいのししに異状がみられた場合は速やかに通報してください。

今回の発生農場



【81例目の概要】

◆発生農場

群馬県桐生市 約5,500頭飼養

【経過】

- 群馬県は、農場から死亡頭数が増加している旨の通報を受け、5月9日に立入り、病性鑑定を実施したところ、豚熱の疑い。
- 国で精密検査を実施し、5月10日、豚熱の患畜であると判明。

【豚熱の特定症状】

- 耳、下腹部、足等の紫斑(チアノーゼ)
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便

管内の飼育豚、いのししにはワクチン接種をしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかりと行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。

(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上